

報道関係各位
企画展のご案内

開館10周年記念企画展

荒井良二の PICTURE BOOK 〈絵・本〉

高志の国文学館
KOSHINOOKUNI
Museum of Literature

はじまるよ
はじめての絵本展!

2022年
6月25日(土)
9月5日(月)

開館時間 / 9:30~18:00 (観覧受付は17:30まで) 休館日 / 毎週火曜日
観覧料 / 一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円(裏面をご覧ください)
※()内は20人以上の団体料金、企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催 / 高志の国文学館 共催 / 北日本新聞社、北日本放送
協力 / 射水市大島絵本館、垂紀書房、NHK出版、偕成社、講談社、ほるぷ出版

「あざになったのでまどをあけますよ」(部分) ©Ryoji Arai 2011

高志の国文学館 開館10周年
感動とのであい。

展覧会ポスター

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 谷口・福澤・大川原・生田
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

世界で注目を集める絵本作家のひとり、荒井良二（1956～）。

2001年のアメリカ同時多発テロ事件から生まれた『はっぴいさん』、東日本大震災をきっかけに描かれた『あさになったので まどをあけますよ』など、時代をみつめた絵本作品は大きな反響をよびました。

日本絵本賞大賞やボローニャ国際児童図書展特別賞など国内外で数々の賞を受賞し、2005年には、児童文学や青少年向けの文学作品にあたえられる、スウェーデンの世界的な文学賞であるアストリッド・リンドグレン記念文学賞を日本人ではじめて受賞しました。

豊かな色彩と繰り返す言葉のリズムが特徴的な荒井の絵本は、子どものみならず、かつて子どもであった大人を含めて幅広い世代に人気を誇っています。本質的なものをそっと差し出すような荒井の作品は、誰の心にも響く深い感動を届けてくれます。

本展は、高志の国文学館開館10周年を記念した、はじめての絵本展です。初期から最近までの代表作を通して、“何気ない日常の中にこそ生きる喜びや希望がある”ことに気づかせてくれる、荒井の絵本の世界をお楽しみいただきます。

Profile

荒井 良二 あらい・りょうじ
絵本作家 1956年生まれ 山形県出身



Photo/Arimura Ren

日本大学芸術学部美術学科を卒業後、イラストレーターとして活躍。90年に『MELODY』（トムズボックス）を発表し、本格的に絵本を作り始める。96年の『うそつきのつき』（作：内田麟太郎、文溪堂）で第46回小学館児童出版文化賞、98年の『なぞなぞのたび』（作：石津ちひろ、フレーベル館）でボローニャ国際児童図書展特別賞を受賞するなど、早くから注目される。荒井が作る創作絵本は国境をこえて多くの人を魅了し、2005年にはスウェーデンの児童文学賞アストリッド・リンドグレン記念文学賞を日本人ではじめて受賞。明るく鮮やかな色使いと、斬新かつ大胆な作風で、国内外において高く評価されている。これまでに100冊以上の絵本を手がけ、いまま個展やワークショップを精力的に開いている。絵本の創作とともに、05年から07年にNHK教育テレビのプチプチ・アニメ「スキマの国のポルタ」（文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞受賞）の原作、12年にNHK連続テレビ小説「純と愛」の題字とオープニングイラストを担当。また、14年の第1回から18年の第3回まで「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」の芸術監督を務めたほか、自ら作詞・作曲しギターを演奏する音楽活動もおこなう。

Outline

展覧会名	開館10周年記念企画展「荒井良二の PICTURE BOOK<絵・本>」
会期	2022年（令和4年）6月25日（土）～9月5日（月）
会場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は17：30まで）
休館日	毎週火曜日
観覧料	一般400円（320円）、大学生200円（160円）、前売り・一般320円 ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
主催	高志の国文学館 共催 北日本新聞社、北日本放送
協力	射水市大島絵本館、亜紀書房、NHK出版、偕成社、講談社、ほるぷ出版
展覧会担当	高志の国文学館 事業部長 生田美秋、係長 大川原竜一

Theme

はじまるよ、高志の国文学館ではじめての絵本展！

絵本のワクワクを伝える展示

荒井良二が本展用に新たに手描きした作品を展示。絵本のなかに入りこんだようなワクワクする会場に設えて、荒井ワールドにいざないます。

ぼくは「絵本の終わり」は「何かの始まり」につながらなければいけないと思いつつも絵本を描いています。読者が絵本を読み終わったときに、「さあ、始めるぞ」という気持ちをちょっとでももてるようなものにしたいのです。(中略) どんな人たちもそれぞれの環境で生きていて、「楽しい」や「嬉しい」という気持ちはもっているということを描いているのが、ぼくの絵本なのかなとは思っています。

「想像力で未来を描くということ」

(『ぼくの絵本じゃあにい』NHK出版、2014年)

心がときめく絵本原画や物語にふれる

代表作の絵本原画を一堂に展示。くわえて絵本の下絵やアイデアメモ、スケッチなどを出展するとともに、荒井のライブペインティングの映像も紹介します。

絵本には、その時その時の社会にいる自分の気持ちのありようが出ればいいのかと思う。(中略) 今のことばかり考えていたら、言いたい言葉なんて、出てこない。絵本はとても長いサイクルで読み継がれるもの。だからこそ今の今じゃなくて、長い目で見て、きちんと伝わる本にしたい。“それでも人生、捨てたもんじゃないさ”ってことがね。

「300年後の人たちへ絵本に託すメッセージ」

(『男の隠れ家別冊 今だから読みたい絵本』三栄、2020年)

Topics

- 1 荒井良二の初期作品『ユックリとジョジョニ』から近年の『こどもたちがまっている』までの、代表作の絵本原画を一堂に展示。
- 2 原画にくわえて、絵本の下絵やアイデアスケッチ、イラスト、ドローイング、立体作品などを展示。荒井良二の絵本作りの魅力にせまる。
- 3 絵本コーナー、映像コーナーを設けるほか、荒井手描きのゲート（導入部）などの演出をおこなう。
- 4 会場内で子ども向けのクイズチャレンジで「荒井絵本キャラクターシール」をプレゼント。
- 5 本展会期中に、富山県美術館の「絵本原画の世界 2022」展の半券を持参し、「荒井良二の PICTURE BOOK<絵・本>」展のチケットを購入された方（招待券をお持ちの方、小・中・高校生及び無料の方も有効）に、「荒井絵本キャラクターシール」または「荒井良二の PICTURE BOOK<絵・本>」展ポスター（ともに枚数に限りあり）をプレゼント。半券1枚につき1名様、1回有効。受付にてお申し出ください。
- 6 射水市大島絵本館とのイベント連携。「荒井良二 トーク&サイン会 in 射水市大島絵本館」を開催。

Events

(1) 荒井良二 開会記念トーク&サイン会

[日 時] 6月25日(土) 14:00~16:00

[会 場] 当館 ライブラリー+研修室 101

◎申込必要 ◎定員/80名 ◎参加無料

(2) 荒井良二 トーク&サイン会 in 射水市大島絵本館

[日 時] 8月20日(土) 14:00~16:00

[会 場] 射水市大島絵本館(富山県射水市鳥取50、0766-52-6780)

◎申込必要(射水市大島絵本館にお電話で直接お申込ください。)

◎定員/150名 ◎入館料必要

(3) 荒井良二 ワークショップ「森の学校 絵・本を作ろう！」

[日 時] 8月21日(日) 13:00~16:00

[会 場] 当館 研修室 101

[対 象] 小学校3年生~6年生

[持ち物] 好きな画材(色鉛筆、絵の具など)

◎申込必要 ◎定員/20名 ◎参加無料

(4) 絵本講座「荒井良二の絵本世界」

[日 時] 7月30日(土) 14:00~15:30

[会 場] 当館 研修室 101

[講 師] 生田美秋(当館事業部長)

◎申込必要 ◎定員/54名 ◎参加無料

(5) 展示担当者による展示解説(スライド・ビュー)

[日 時] ①7月9日(土) ②8月13日(土) ③9月4日(日)
各回 14:00~(30分程度)

[会 場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎参加無料

■申込方法((2)のトーク&サイン会 in 射水市大島絵本館を除く。)

電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込で、定員に達してご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

Highlight

■主な出品資料

●エントランス

- ・【パネル】『きょうのぼくはどこまでってはしれるよ』（作・絵：荒井良二／NHK 出版）大パネル
- ・【映像】『森の絵本』（作：長田弘、絵：荒井良二／講談社、第31回講談社出版文化賞受賞）朗読映像
- ・【映像】荒井良二ライブペインティング映像（森山直太朗ミュージック・ビデオ「花鳥風月」（ユニバーサル ミュージック）より）

●企画展示室内

- ・【絵画】原画「ユックリとジョジョニ」（作・絵：荒井良二、安曇野ちひろ美術館蔵、エズラ・ジャック・キーツ賞ノミネート）
- ・【絵画】原画「はっぴいさん」（作・絵：荒井良二）
- ・【絵画】原画「たいようオルガン」（作・絵：荒井良二、第1回JBBY賞受賞）
- ・【絵画】原画「あさになったので まどをあけますよ」（作・絵：荒井良二、第59回産経児童出版文化賞大賞受賞）
- ・【絵画】原画「きょうはそらにまるいつき」（作・絵：荒井良二、第22回日本絵本賞大賞受賞）
- ・【絵画】原画「こどもたちはまっている」（作・絵：荒井良二、第26回日本絵本賞受賞）

Images



1 荒井良二
Photo/Arimura REN



2 絵本原画「あさになったので まどをあけますよ」
©Ryoji Arai 2011



3 企画展ポスター

高志の国文学館企画展
「荒井良二の PICTURE BOOK<絵・本>」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 荒井良二 Photo/Arimura Ren
- 画像 2 絵本原画「あさになったので まどをあけますよ」 ©Ryoji Arai 2011
- 画像 3 企画展ポスター

◎画像1・2をご使用の際には、撮影者やコピーライトが分かるよう明記願います。